学校番号	３２７

令和８年度　芸術科（国際文化科）

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の美術Ⅲ（日文）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン・工芸」、作品の意図、表現の工夫や効果を考える「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
制作活動を通じて準備、段取り、状況判断などの大切さを学び、それらの活動が普段の生活にも生かせるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
積極的に制作活動に取り組み、日常生活をより良いものにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。また美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期 2学期	デッサン	【デッサン】 ・鉛筆の使い方からデッサンの基本までを学習する。	a:パースなどしっかりとれているか。 b:作品全体を把握してトーンの調整などができているか。 c:作品制作に対して真摯に取り組む態度を養う。	丁寧な作業と道具の適切な利用。	明暗の差や面の方向などを意識して描写できているか。	制作の様子。クロッキー提出
	構成デッサン	【平面構成】 ・デッサン力を駆使して、画面の構図やモチーフの表現の仕方を学習する。	a: パースなどしっかりとれているか。 b:構図やアングルなど工夫がされているか。 c: 作品制作に対して真摯に取り組む態度を養う。	丁寧な作業と道具の適切な利用。	スケッチなどで構図などをしっかり考察できているか。	制作の様子。デザイン案のプリント提出
3学期	色分割による自画像	【平面構成】 ・色分割により明暗差で立体的な表現を学習する。	a: 顔の構造を理解し適切な表現ができているか。 b: 絵の具の使い方や色の選択など適切にできているか。また適切な構図が選択されているか。 c: 作品制作に対して真摯に取り組む態度を養う。	丁寧な作業と道具の適切な利用。	スケッチなどで構図の判断ができているか。	制作の様子。デザイン案のプリント提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度